



お問い合わせ・申込書送付先

ギャラリーヴィー 絵話塾

神戸市中央区元町通3-2-15

セントラルビル元町5F 〒650-0022

tel. **078-332-5808**

fax. 078-332-5807

☑kaiwajuku@galleryvie.jp

●ホームページ

<http://www.galleryvie.jp>

●絵話塾だより(ブログ)

<http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku>

●フェイスブック

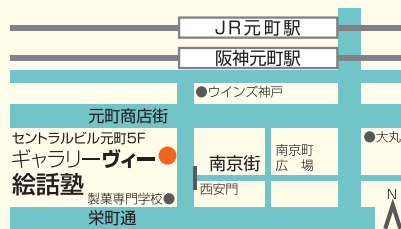
[facebook.com/kaiwajuku](https://www.facebook.com/kaiwajuku)

●Twitter

twitter.com/kaiwajuku

●Instagram

[kaiwajuku_insta](https://www.instagram.com/kaiwajuku_insta)

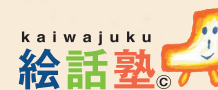


神戸にチャンスがある

イラストじゅくり塾 絵本ゆっくり塾 絵本わくわく塾

2019年度 生徒募集中

<http://www.galleryvie.jp>



絵話塾は絵本と イラストを学ぶ 特別な教室です

絵話塾(かいわじゅく)は、第一線で活躍中の絵本作家やイラストレーターが講師を務める、実践的な講座です。日々の暮らしを楽しく彩りたい方からプロの絵本作家やイラストレーターを目指す方まで、幅広く対応しています。絵が好きでこれから描いていこうとする方に対して、さまざまなメディアで見かける憧れの先生から、直接アドバイスやサポートを受けながら授業を進めていきます。本やインターネットからでは絶対味わえない、情熱や空気感まで体験できる貴重な授業です。先生方は皆さんフレンドリーで親しみやすく、和気あいあいと楽しく学んで、一年後には確実に成長できているでしょう。

※開塾から15年を経て、卒業生の中にはプロで活躍中の方も
沢山おられます。

特 徴

●第一線で活躍している作家が講師陣

教えるプロの先生ではなく、実際に第一線で活躍されているプロが先生。だから実践的でオモシロイ。

●他の講座もスポット受講できます

在籍中のクラス以外でも興味のある他のコースも、卒業生・在校生なら受講できます。(有料)

※絵本レベルアップ・イラストレベルアップコース

(毎年秋から始まる上級者向けの講座)はスポット受講ができません。

●先生との距離が身近に

授業が終われば、憧れの先生と直にお話ができ、アドバイス等がもらえる場合があります。

●作品展の開催(参加費無料) ※但しDM代として500円いただきます。

1年間の授業が終われば、教室の隣のギャラリーVieで卒業後に2週間、修了作品展を開催いたします。



さあ楽しい時間がはじまるよ



絵話塾は4コースあります

絵本ゆっくり塾

■特徴

「絵本ゆっくり塾」は、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、ゆっくり学んでいくコースです。
将来絵本作家になりたい方はもちろん、プロは目指さないが自分や誰かのために絵本を作ってみたいという方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵・ストーリー・画面構成・ページ構成など、実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者からみた絵本の考え方、出版社への売り込みに関することまで、知識や技術の習得だけでなくメンタル面で絵本にとって必要なことも学んでいきます。例えばA先生は本の成り立ちからアイデア出しの方法、画材の使い方・選び方といった絵本の作り方を幅広く教えて下さったり、B先生は実験的なミニ絵本をその場で制作・講評したり、C先生はテーマを決めて様々な形態の作品を完成させるワークショップを行ったり、D先生は絵本編集者の立場から絵本に関するお話と作品講評を行ったり。このようにそれぞれ個性豊かな講師のアドバイス・考え方を吸収して、絵本作りに必要な「something」を学ぶことが出来ます。

■開講日

2019年6月中旬から約1年間
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程/1課程=2時間

■日時

Aコース/日曜日午後2:00~4:00
Bコース/日曜日午後5:00~7:00

■定員

A・Bとも各約20名

絵本わくわく塾

■特徴

「絵本わくわく塾」は、週末の授業には出られない人や、絵だけではなく、文章もたっぷり学びたい方のためのコースです。
「ゆっくり塾」と同じく絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、わくわくしながら楽しく絵本と取り組む講座です。将来プロを目指す人はもちろん、絵本が好きでもっと奥深く学びたい方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵本作家や編集者だけでなく児童文学作家もおられるので、絵と文章をセットで学んでいきます。もちろん「ゆっくり塾」と同様、絵・ストーリー・画面構成など実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者から見た絵本の考え方、出版社への売り込みに関することなどの授業も行います。
例えばA先生はお薦め絵本の読み聞かせをしたり、B先生は漢字を使わないで文章を組み立てたり、C先生は絵本作りのきっかけになるアイデア出しの方法を実際に試してみたり、D先生は普段なかなかできない方法で絵を描いたりと多彩な内容です。個性的な絵本を作っておられる講師の方々があなたの絵本作りの応援をします。

■開講日

2019年6月中旬から約1年間
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程/1課程=2時間

■日時

水曜日 午後2:00~4:00

■定員

約20名

イラストじゅり塾

■特徴

「イラストじゅり塾」は、絵を描くことが好きでもっとスキルアップしたい人や、暮らしの中で使える絵を描いたり、絵を仕事にしたい方にもお勧めのコースです。
プロのイラストレーターとして第一線で活躍されている講師の方々のテクニックや、経験に即した様々なお話を聞いたり、作品を講評してもらいながら、各自のレベルに合わせて自分だけのオリジナルなイラストを、じっくり作りあげていく講座です。

■授業内容

このコースではイラストレーターの仕事のカテゴリーに入る様々な作品を実際につけていきます。
クロッキー、書籍の装画、CDジャケット、オリジナル雑貨、粘土で作る立体キャラクターなど。それぞれ独自の作風を持つ先生方と一緒に、色々なアプローチで自分の絵の世界を拡げていきます。使ったことがない画材や、自分では思いつかないような表現、テーマに沿った様々な作品を制作することで興味が拡がり、技術的にも精神的にも成長できます。またプロが仕事の現場で実際に経験した生きた言葉は、これから皆さんが絵を描いていく上でのヒントになるはずです。

■開講日

2019年6月中旬から約1年間
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程/1課程=2時間

■日時

土曜日 午後2:00~4:00

■定員

約20名

新設

ことばを学ぶ

文章たっぷり塾

■特徴

例外はありますが、一般的に絵本は絵と文で構成されています。絵がなくても文章（ストーリー）のレベルが追いつかない場合は、絵本として成立しません。
このコースは「ことば」を中心に文章の書き方や句読点の使い方などを初歩から文章をたっぷり学びます。書いた文章は添削指導も行います。スマホで簡単に文章が作れる今だからこそ正しい日本語、美しい日本語を身につけたいですね。
また、ぜひとも読んでほしい絵本や児童文学の紹介から、映画にいたるまで授業内容は多岐にわたります。

■授業内容

- ①原稿用紙を使う文章の書き方。
- ②テーマを決めて文章を書き、添削します。
- ③主語や述語などの文法をわかりやすく、例文で解説。
- ④読んでほしい、絵本や児童書などを紹介。
- ⑤文章だけのコンペ（公募展）に、応募する方法。
- ⑥美しい日本語とは。

■講師

高科正信
他の予定

■開講日

2019年6月中旬から約1年間
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間24課程/1課程=2時間

■日時

金曜日 午後6:00~8:30

■定員

約20名

※総授業時間は他のコースと同じです。

コンペ(competition)
コンペティションの略で、絵本のコンペ、イラストや文章だけのコンペなどがあります。コンペに入選してプロになった方も多くいます。ただ注意することは、コンペの数が多いので、なかには入選してもなかなかプロにならないものもあります。どのコンペに応募すればいいのか分からない場合には、相談にのります。

ダミー本

仕上がりを想定した、絵本の設計図のようなもの。色を塗っても塗らなくてもいいが、ポイントになるページには色をつけるのが望ましい。

カリスマカラー (商品名)

芯が柔らかい色鉛筆で発色がよく色数が多いのでお気に入りの色が見つかりやすいです。紙の上で混色ができ、水彩やアクリルの上から描くことができます。好きな色を数本持っていれば便利な画材です。

※各コースとも定員になり次第締め切ります。





荒井良二／授業時間内で一冊の絵本を作ります



木村真／絵本の紹介



WAKKUN／大きな紙に思いっきり絵を描くと気分爽快！



太田朋／しりとり絵本を作ろう！



絵本ゆつくり塾 advice&scene

「絵話塾」では、絵本を教えるプロではなく実践で活躍されて、本もたくさん出版されています。先生の名前を聞いてもピンとこない方も、絵を見れば分かる方も多いと思います。授業内容は、教えるというより先生が今まで経験したことを生徒さんに伝えるような授業です。ですから「僕は先生ではないから、名前で呼

んでね」という方もいらっしゃると思います。絵話塾に入る前に「絵はあまり描いたことがないのですが、入ってついていけるかどうか不安です」という声をよく聞きます。たしかに生徒さんの中には始めから絵が達者に描ける方もいますが、大事なことは自分が絵本を作りたいのに絵を描いたことがないと自分で理由をつけて、あきらめな

いことです。誰にでも「最初」があります。絵本の場合はリアルな絵より、味のある絵が要求されます。もちろん基本のデッサンは必要ですが、それは練習すれば上達します。あなたも色々な理由で絵本を作ること諦めないで、絵話塾で学んで一歩踏み出しましょう。



スズキコージ／カンムリ帽子を作って、みんなで記念撮影



■上手い下手は関係なく、先ずは楽しんで絵を描くこと。自分が楽しくなければ、見ている方もっと楽しくない。興味のない絵本も読んでみると勉強になる。食わず嫌いはだめですね！
■絵を描くとき、どう表現したらよいか分からない方はとにかく手を動かしてスケッチしてください。
あーでもない、こーでもない、とスケッチしていると、だんだん描きたい絵が見えてきます。
■絵を描くとき、上手く出来なかったと落ち込まないこと。最初から上手くいかないのは当たり前。
■こどもが絵本を読んで感情移入しやすいように、伝えたいことを全て言葉にしないこと！

■アイデアが浮かばない時は、いろいろな絵を見て、試してみよう。
■絵を描くモチベーションは、ギャラリーや展覧会に絵を見に行ったり、絵を描く友だちを作る。

絵本を深く読むことも、
絵本を描くには必要。

高島那生／普段描いている絵を生徒さんの前で披露



卒業生のことば

酒巻 恵 sakamaki megumi

イラストレーター／絵本作家



独学に限界を感じて絵話塾に通うことを決めました。色々な授業を受け、絵本の奥深さと面白さを知り、もっと絵本が好きになりました。講師の方や仲間たちと出会うことで、一人では開けなかった扉が開くこともあるかと思えますよ。

主な作品

- 『くだものおばけやしき』（ひかりのくに）
- 『ひげひげわたりひげ』（あかね書房）
- 『おしりびより』（WAVE 出版）
- こども向けの月刊誌・書籍の挿絵イラストなど

土井章史／ベテラン編集者からのアドバイス



voice

5 絵本ゆつくり塾

4 絵本ゆつくり塾



絵本わくわく塾

advice&scene

この「絵本わくわく」コースは平日の水曜日に授業があります。日曜日がお仕事などで通えない方や、このクラスの先生が魅力で遠方から通われるという方もいます。このクラスだけの先生はツペラツペラさん、高科正信さん、絵本の編集者、松田素子さんです。日曜日の「絵本ゆっくり」コースとの違いは絵本のテキストなど、文章の勉強もします。入塾する前によく聞かれる質問のひとつに、期間が長いので続くかどうか不安という方がいま



すが、授業もあと少しで修了する時期になりますと、意外と早くてしっかりと通えました、という方が多くいます。また仕事などで転勤になる場合、次年度に持ち越し制度もありますので、安心して通っていただけます。このコースの先生で絵本作家のツペラツペラ（亀山達矢）さんの

授業のひとつに「スゴロク」があります。まずは皆さんでスゴロクのマスと自分のコマを作り、作ったマスには止まりたくないものがいっぱい！ゴールが近づけば、スタートに戻るマスもあり、みなさん童心に戻って、思いっきり楽しんでます。この授業は人気があり、修了しても毎年この授業に参加する方も多くいます。

高科正信／豊富な知識で、ぜひ読んでいただきたい本の紹介



voice

卒業生のことば
MICA O
刺繍作家／イラストレーター



美術、デザインの専門教育を受けた事も、仕事に就いた事もなかった私にイラストレーターへの扉を開いてくれたのはギャラリーVie絵話塾です。先生方は第一線で長く活躍されている方々ばかり。そんな先生方から、プロとして活躍し続ける為のノウハウを是非掴み取っていただきたいね。
また、ここで出会った先生方、生徒さん同士の横のつながりは今後の財産となることでしょ。飛び抜けた才能のある人が活躍するわけではありませんが、長く続けることが大切です。
最後に、突然巡ってくるチャンスをちゃんと掴めるよう、基礎体力作りを日々怠らないように。
●イラストレーターとして雑誌、書籍の表紙絵のほか、文具メーカーとのコラボで、毎年カレンダー、手帳、ジクレー版画などを制作
（主な連載）
ベルソナ通信表紙絵連載（阪神阪急百貨店）、子とともにゆう＆ゆう表紙絵連載（愛知県教育振興会）
日々歩表紙絵（国立がん研究センター）
●刺繍作家として全国の百貨店、大手雑貨店、ギャラリーで年に5、6回の個展を開催。

絵本は人と人をつなぐ、コミュニケーションツール。



■いろいろな人の意見は受け取っても、自分の描きたいことはブレないように。
■作った絵本は、声を出して読むことで絵本のリズムや、おかしいところが見つかる。
■良い絵本は、根の部分（見えない部分）がしっかりしています。絵本では、細かく描き込んで見せる場合もありますが、緊張感を持たせるため、余計な部分は描き込まないことも必要。読者と一緒にドキドキハラハラし、どれだけ絵本の世界に入れるか、読者に共感してもらうことが大事です。
■絵本作家を目指す方は、絵本を本気で読んでください。読む筋肉と作る筋肉は同じです。カヌーのオールも片方だけ漕いでいては、前には進みません。
■課題をするうえで大事なことを三つ・最後まで書く。
・締切に間に合わなくても書く。
・書いたものを声に出して読む。



tupera tupera／いろいろなキャラクターを作って、すべり台からスキーの大滑降



亀山 (tupera tupera) さんが作ったシロクマくん

スキー板はサインペンなどを利用



はやしあすみ／黒い紙でキャラクター作り



tupera tupera
空箱でトーマスボール作り



スズキゴージ／制作中に先生のお話して盛り上がる



太田朋／紙版画で作品作り

松田素子
絵本を深く読む



イラストじゅり塾

advice&scene

普段の生活のなかで、絵は好きだけど、絵のお話ができる友だちはそう多くないと思います。「絵話塾」に通われる生徒さんは年齢も職業も住んでいる所(遠くは千葉、沖縄、四国、鳥取など)も違いますが、イラストやアート、美術館などが好きという共通点で集まっているので、友だちがでやすい環境です。イラストコースを修了されても、何人かでグループ展を開いたり、好きな展覧会を見に行ったりして、おおいに楽しんでいます。

また他の生徒さんのイラストを見ることで、刺激になったり励まされたりもします。先生のテクニックも教えていただけるので、今までと違った技法も身につきます。東京から泊まりで来られる先生は、授業が終わってから食事に行くことも多いので、授業中は聞けなかったことなども、遠慮なく質問できます。食事は第二の授業かもしれません。「イラストじゅり」の授業は、年度によって異なりますが、イラストを立体で作った

り、実用的な雑貨を作ったり本の装画を描いたりと多彩な内容です。いろいろな授業受けることで、あなたのオリジナルな絵を発見することもできます。



■作品を作ったら、とにかく人の目に触れる機会を作ることが大切。誰かに見てもらえたら、声を掛けてもらえることもあるけれど、やらなければそこで終わり。
■まずは、直近の目標を立てる。公募やコンペに挑戦するなど、締切があるとモチベーションUPにも繋がります。
■何を描きたいか迷ったときは、自分の中の「好き!」をチョイスしていくのもひとつの方法です。
■漠然と絵を描くより、普段は描かないものを意識して描いていくと鍛えられる!
■忙しくてもアンテナを張って新しいモノをインプットすることは、作品を作る上で大切なこと。

advice

絵が好きな仲間を見つけるのも、イラスト上達の方法。



たかいよしかず／
おすすめの本を紹介

安齋肇／作品の講評

■自分が得意なことを極めたいのもありだし、嫌いなことに挑戦したらへただったことがうまくなることもある。
■現実ではあり得ないシチュエーションをコミカルに描く!という思いがありますよ。

卒業生のことば

マメイケダ

画家／イラストレーター

実績のある方たちが講師をしている、しかも神戸で会えるのはすごいな~と思ったのと、作家(描き手)だけでなく編集者の方も講師に入っているのが特にいいなって思いました。

絵が上手になりたい、というのは最初からなくて、ただここに通う人たちに会いたいという気持ちでした。

授業後の食事会のおかげで同期の人たちとは今も会ったり、お互いの展覧会を見に行ったりしています。

本気な人や趣味の人、美大出身の人、そうじゃない人、いろんな人がいたのでそれがいいますね。先生たちの授業は一見ゆるいですが、その中で核心なるものがある気がします。



装画

弓削ナオミ
様々な画材の説明

寺田順三／
作品の講評



イナキヨシゴ
缶バッジを作る

寺門孝之／
イラストについてのお話

8

イラストじゅり塾



9

イラストじゅり塾

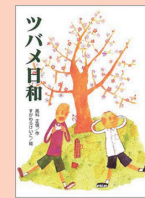
新しい講座「文章たっぷり塾」を開講いたします。

2019 年 6 月(予定)

文章を中心とした金曜日クラス

文章に特化した約 1 年間の講座で、絵本の文章の書き方、考え方や物語を作るうえでのアイデア出しなど。文章の基本となる句読点の打ち方、原稿用紙の使い方。絵本で使われる「分かち書き」。主語と述語などの文法も学んでいきます。また、ぜひとも読んでほしい絵本や児童書、小説、見てほしい映画なども解説。絵本制作や児童書に必要なことを総合的に学んでいきます。講師は高科正信さん他約1名を予定しています。

- 開講日>2019 年秋からの予定
 - 講座数>年間30課程 1課程=2時間
 - 日 時>金曜日 午後6:00~午後8:30
 - 定 員>20名程度(定員になり次第締切)
 - 受講料>246,240 円(税込)
- (入会金 30,000 円+授業料 193,000 円
通信費・雑費 5,000 円+税 18,240 円)



『ぼくらの事情』
出版社：『ツバメ日和』
出版社：『さよなら地底人』
出版社：フレーベル館
『ぼっちたちの夏』
出版社：佼成出版社
『たぬきがくるよ』
出版社：BL 出版

講師は高科正信、他の予定です。

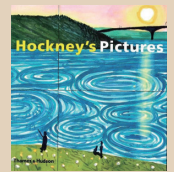


おやすみなさいコッコさん
作・絵：片山 健



夜更かしをしているコッコさん。お月さまが「そらのくももねむったよ」と語りかけます。寝たくない子どもにやさしく語る絵本。

Hockney's Pictures
デヴィッド・ホックニー



ホックニーの描く絵は、何げないシーンを切り取って絵に仕上げています。色彩や構図を学ぶにはうってつけの1冊。

氷河鼠の毛皮
作：宮沢賢治 絵：堀川理万子



一度は読んでほしい、宮沢賢治の絵本。人物や風景の描写など、絵本を作るうえで参考になるシーンがたくさんあります。

銀のほのおの国
作：神沢利子 絵：堀内誠一



兄弟が異世界に迷い込み、敵と味方に別れて繰り広げられる闘いは、大人も充分に楽しめます。

もりのなか
作・絵：マリー・ホル・エッツ (福音館)



絵本は何回も読めば、新しい発見ができます。特にこの絵本は1回だけではなく何回も読むことで、絵本作りのヒントになります。

まぼろしの小さい犬
フリッパ・ピアス



犬がほしかった主人公のベン。しかしおじさんがプレゼントしてくれたのは犬の絵。深く心に伝わる児童文学の名作。

絵本の世界1・2
110人のイラストレーター



雑誌「anan」のロゴなどを手がけた、マルチアーティストの堀内誠一さんが編集されたこの本は、時代を超えていつまでも残る作品集です。

かさ
作・絵：太田大八



女の子のかさだけが赤色で、あとの風景はモノクロで描かれている絵本。色を使わずに情景を豊かに表現しています。

絵話塾の講師の作品はあえて紹介していません。また他にもおすすめ図書はありますが、割愛させていただきました。

2019年秋からスタートの講座

絵本・イラストのための

基礎
クラス

講師

タケウマ
takeuma

基礎クラスは「絵本・イラスト」にとって必要な、描く力・観る力を学ぶためのクラスです。また毎年春から行われる絵話塾の本コース「イラストじっくり塾」「絵本ゆっくり塾」「絵本わくわく塾」の授業に役立つ基礎画力もつけていきます。授業内容は、「モチーフを伝わりやすいようにデフォルメする」をテーマに、人物や静物、色彩・構図も勉強していきます。また外に出てスケッチ等も行っています。

- 開講日>2019 年秋からの予定
 - 講座数>年間20課程 1課程=2時間
 - 日 時>土曜日 午前11:00~午後1:00
 - 定 員>20名程度(定員になり次第締切)
 - 受講料>113,400 円(税込)
- (授業料 100,000 円+通信費・雑費 5,000 円+税 8,400 円)

神戸水族園でスケッチ



時間を決めてのクロッキー



絵本のステップアップ

絵本
レベルアップ

講師

高島 純
takabatake
jun

松田 素子
matsuda
motoko

月 1 回約 1 年間のクラスで、講師は 高島純さんと松田素子さんのお二人です。編集者の松田さんは、絵本の講評と絵本をもっと深く理解するためのお話。高島純さんは長年絵本を出版されている作家の立場から、ワークショップ形式で絵本に必要なトレーニングを行います。一年間じっくりと継続的に学ぶことで、絵本に対する取り組み方・考え方・制作スキルなどをよりレベルアップすることを目指します。

- 開講日>2019 年秋からの予定
 - 講座数>年間20課程 1課程=2時間
 - 日 時>日曜日 午前11:00~午後1:00
 - 定 員>20名程度(定員になり次第締切)
 - 受講料>178,200 円(税込)
- (授業料 160,000 円+通信費・雑費 5,000 円+税 13,200 円)

高島純／
カラーズの授業



松田素子／
絵本の力とは



カラーズ作品

イラストのスキルアップ

イラスト
レベルアップ

講師

山内 庸資
Yamauchi
Yosuke

サタケ
シュンスケ
Satake
Syunsuke

月2回の授業で約8カ月間学んでいきます。生徒さんとの対話を通じて、その人のイラストをよりレベルアップすることを目指します。構図・配色・技法など制作に関することから、作品の売り込み・コンペへの応募、SNS の活用方法などをじっくりと継続的に学ぶことで、イラストに対する取り組み方・考え方・制作スキル・自作のプロモーション方法などをよりレベルアップしていきます。

- 開講日>2019 年秋からの予定
 - 講座数>年間20課程 1課程=2時間
 - 日 時>土曜日 午後5:00~午後7:30
 - 定 員>20名程度(定員になり次第締切)
 - 受講料>178,200 円(税込)
- (授業料 160,000 円+通信費・雑費 5,000 円+税 13,200 円)



サタケシュンスケ／プロジェクターを使っている授業



山内 庸資／パソコンを使っている講義

講師は変更になる場合もございます。ご了承ください。

講師 PROFILE | 絵本コース

荒井 良二
Arai Ryoji

●
絵本作家
イラストレーター



山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったので まどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいっす』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンダグリーン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。『みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ』アーティストック・ディレクター

に2014年から就任するなど、その活動の幅を広げている。

授業の進め方

僕の授業は、いつもお話から始まります。最近起こった事、読んだ本、気になる事など……。授業の後半では、冊子を使って1冊の絵本のようなものを作ります。まあ絵本の準備体操ですね。何も条件がないと作りにくいと思うので、こちらからテーマを決めて作ってもらいます。例えば、全部のページに1本の同じ線を描く・行って帰って来るお話にする等。こうした決まり事や制限があると、その中で最大限出来る何かをやってやろう！ 探してやろう！として作るのではないかな。そこから創作のアイデアが生まれてくるのではないかな？と思っています。

埼玉県生まれ。長沢セツ・モードセミナーでイラストレーションを学ぶ。69年、雑誌「an」に連載した『きむずかしやのピエロットものがたり』でデビュー。『ねぎぼうずのあさたろう その1』（福音館書店）で第49回小学館出版文化賞受賞。『小さなスズナ姫』シリーズ（偕成社）で第11回赤い鳥さし絵賞を受賞。『みずくみに』（小峰書店）で第20回日本絵本賞を受賞。絵本の制作以外に人形芝居の美術・衣装、絵本セミナーの講師など多方面で活躍中。またブルースハープ奏者としてライブ活動も行っている。

授業の進め方

以前、絵話塾の講師をしていましたが、今年度からまた「絵本ゆっくり」コースを担当します。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。授業は自作の絵本をカンカラ三味線を弾きながら、読み聞かせをします。また生徒さんが作った絵本のダミーまたは絵の講評をします。



飯野 和好

Iino Kazuyoshi

●
絵本作家
イラストレーター



tupera tupera
亀山達矢

●
絵本作家



tupera tupera は亀山達矢と中川敦子によるユニット。2002年より活動を開始。絵本やイラストレーションをはじめ、工作・ワークショップ・舞台美術・アニメーション・雑貨など様々な分野で幅広く活動。絵本など著書多数。海外でも様々な国で翻訳出版されている。主な著書に『かおノート』『やさいさん』『パンダ銭湯』など。また『しろくまのパンツ』（ブロンズ新社）で日本絵本賞受賞。NHK Eテレ「ノージーのひらめき工房」ではアートディレクションを担当。2019年アカデミー賞長編アニメ映画賞にノミネートされた、細田守監督の映画「未来のミライ」では、登場するキャラクターデザインを担当。京都造形芸術大学子ども芸術学科客員教授 <http://www.tupera-tupera.com/>

授業の進め方

ボクは絵本だけではなく、ファッション・舞台美術・ワークショップなど広い分野で活動している2人組ユニット、ツベラツベラの1人です。初回の授業では、今まで出版した絵本がどうやって誕生したのかを、種明かししていきます。日常の中には絵本になる題材が沢山あって、それを絵本に出来るかな……と、いつも考えているのです。『やさいさん』『パンダ銭湯』『うんこしとり』はそんな日常のアイデアから誕生しました。みんなでワークショップをする授業もあります。NHK Eテレ「ノージーのひらめき工房」でも行っている、簡単な頭の体操から、「巨大すごろく」を作るワークショップまで、毎回楽しい授業です。

東京都生まれ。学研教育出版 幼児・児童書出版部に所属。『Pookal』『おはなしブーカ』の編集長を務める。今までに200冊以上の絵本を企画・編集する。担当した作品に『いつでも会える』（菊田まりこ）『パパはウルトラセブン』（宮西達也）『思いつき大百科辞典』（100%ORANGE）『ほうしとったら』（tupera tupera）などがある。また絵本コンペ審査員など絵本に関する活動も多数。



授業の進め方

本を出版・販売する側の編集者として、客観的な目で見作品を見て講評します。海外の絵本の見本市などにも出かけて、海外と日本を比較しての違いなども具体的にお話します。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。その都度ワークショップなども行います。例えば「食べ物」の絵本が主流になってきたと感じた時には、皆さんにもそれに関連した絵本で好きな本はないか聞いたり、また食べ物のキャラクターを考えてきてもらうこともあります。絵本は時代背景も大きく関係しているので広い視野で作ることも大事だと思います。

木村 真

Kimura Makoto

●
編集者



太田 朋
Ohta Tomo

●
絵本作家
イラストレーター



兵庫県生まれ。1994年よりポストカードの制作を始め、その後絵本も出版。『きみがはじまる』（学研）『うたたねネックルとネムのくに』（文研出版）等がある。シンプルな絵と言葉による作品は、若い女性を中心に人気が高く、イラストが入った雑貨やカレンダーもたくさん作られている。また出版物の表紙や挿絵、広告、アニメーションなども手がかかる。関西を中心に作品展を多数開催。



授業の進め方

シンプルな絵と短い言葉で作る表現を得意としています。授業では、8ページ絵本を作るところから始めて、最後は「自分のエピソード絵本」を作ります。絵本という枠に収まらないで、自分の作りたい形、大きさ、長さ、手法も自由に作ってもらいます。授業中にアイデア出しをする時は、机を回り、生徒さん達の話聞き一緒に相談に乗りながら進めていきます。

スズキ コージ
Suzuki Kohji

●
絵本作家
イラストレーター



静岡県浜松市生まれ。1968年新宿歌舞伎町の路上にて初個展、1971年個展「コージズキンの世界」開催。「イラストレーター」の名称ができた頃にデビュー。1987年『エンソくんきしゃにのる』（福音館書店）で小学館絵画賞、1988年『ガラスめだまきんのつものやぎ』（福音館書店）と1989年『やまのディスコ』（架空社）で絵本にっぽん賞、2004年『おはけドライブ』（ビリケン出版）で第35回講談社出版文化賞絵本賞。2009年『ブラッキングー』第14回日本絵本大賞。2014年姫路市立美術館にて「スズキコージの絵本原始力展」を開催。最新刊は『コーベッコー』（BL出版）

授業の進め方

ボクの授業では、何か一つテーマを決めて毎回3時間のワークショップを行います。今まで作ってきたものは、例えば「帽子」や「靴」。それから「自分に起こった喜怒哀楽を表現してみよう！」など。作る作品は、ダンボールで立体作品や、コラージュの手法で平面作品など何でも全て自由です。ボクは音楽も好きなので、制作中によくCDをかけます。ジブシー音楽やジャズに至るまでジャンルも様々で、ボクもみなさんと一緒に作ります。作りながら旅の話もよくします。メキシコが好きで今まで何回も行ってその都度おかしなことに遭遇しました。作品が完成したら発表会です。さあ皆で楽しもうぜい！

講師 PROFILE | 絵本コース

高科 正信
Takashina Masanobu

●
児童文学作家



愛媛県生まれ。日本児童文学者協会会員。作品に『タンポポコーヒーは太陽のにおい』（理論社）、『モモコ』（文溪堂）、『ふたご前線』『ツバメ日和』『はくらの事情』（フレーベル館）など。本塾講師、荒井良二さんとの仕事に『おおきなおおきなさかな』『さよなら地底人』『さよなら宇宙人』（フレーベル館）。また本塾一期生、小林美佐緒さん作画の絵本『たまのりおたまちゃん』『がぶりがぶりのおかあさん』（いずれもフレーベル館）がある。他に『ぼっちたちの夏』（佼成出版社）『たぬきがくるよ』（絵・寺門孝之 BL 出版）、最新刊は『はしをわたってしらないまちへ』（福音館）がある。

授業の進め方

児童文学作家で子ども向けのお話を書いています。普段は近所の海で釣りをしたり、釣ってきた魚で料理を作ったりして過ごしています。授業の初めには、最近読んだ本や好きな映画の話をしてしながら、進めていきます。毎回テーマを決めてそれに合う絵本を、ボクが読み聞かせをしながら紹介していきます。授業のテーマは「幸福のあり方」「私とは誰か」「子どもの秘密」等です。絵本の中にこんなことが隠されているのか、こういうことを伝えたかったのか、という部分を説明します。絵本には沢山の魅力が詰まっています。あと、文章を書く課題を出します。原稿用紙の書き方も含めて添削してお返しします。

はやしすみ
Hayashi Masumi

●
絵本作家

絵話塾出身の先生です。



京都府生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、グラフィックデザイナーとなる。2008年度ギャラリーVie 絵話塾修了。第10回ピンポイント絵本コンペ『ねーねーのしっぽ』で優秀賞受賞。自然の匂いや温度を感じる大らかな作品や、動物たちをユーモラスに描き出した作品が人気。『とんとんとんだれですか？』『たんぼレストラン』『どんどろめがね』など、絵本多数。最新刊は『うそうそかわうそのむかしばなし』（小学館）



授業の進め方

昨年度から「絵本ゆつくり」コースを担当している、はやしすみです。私の授業はワークショップを中心にすすめていきます。例をあげますと、厚紙を動物の形にハサミなどで切り、着色します。自分では思っていなかった形になり、味のあるイラストが完成します。また授業内でテーマを決めて絵を描いたり、動物や植物などを描くときのデフォルメの方法などを伝えていきます。あと絵本作家になった経緯、出版社への売り込みの方法などのお話しをする予定です。みなさん最初から絵本作家の人はいません！必ず初めがあるのです。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

岐阜県生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。絵本作家、イラストレーターとして活動中。第4回ピンポイント絵本コンペ入選「メガネをみてよ!」、第25回講談社絵本新人賞佳作「むかつたさきは...」。主な絵本作品に『はく・わたし』『チータ大セール』『でっことりぼっこり』（絵本館）『いぬのムーバウいいねいいね』（講談社）『おまかせッア』『クリスマスのきせき』（理論者）『だるまだ!』『カップのあいさつ』『あるひこねこね』（好学社）『あいうえおんせん』（くもん出版）『バナナじけん』（BL 出版）『カエルのおでかけ』（フレーベル館）で日本絵本賞を受賞など他多数。www.nao-takabatake.com/

授業の進め方

ボクは今までと違う視点で絵本を作ります。例えば「描きたいシーン」の絵を何枚か描いて、描いた絵から連想する「コトバ」をつなぎ合わせて絵本を作っていきます。こうすると予測できない作り方が出来ます。また、今まで自分が作ってきた制作エピソードや、皆さんの前で絵を描いて、描く順番、筆の運び方、色の混ぜ方などを直接見てもらうこともあります。たまに天気の良い日には外に出て、アイデアを見つけに行くワークショップを行うこともあります。

高島 那生
Takabatake Nao

●
絵本作家



山口県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。偕成社絵本編集部所属。後に『月刊MOE』の編集長を務める。1989年に偕成社を退社後フリーで絵本を中心に企画・編集・評論の分野で活躍。これまで300冊以上の本の編集に携わる。また自然や科学の分野においても企画・編集および執筆者として活動している。



授業の進め方

これまで300冊以上の絵本の誕生に関わってきました。その誕生秘話と経過のダミーなどを具体的にお見せしながら、絵本が生まれてくるために最も大切な作品の根っここの作り方や育て方からお話ししたいと思います。時代を超えて読み継がれてきた絵本の力をもう一度再確認する話も織り交ぜながら進めていきます。「読む力」と「創る力」とはつながっています。その上で、皆さんの作ったダミーを、現実的な出版の可能性という立場から講評します。読者としてもこれまで以上に絵本を楽しめるようになって欲しいし、それが作家としての底力（根っこ）につながっていくことを願っています。

松田 素子
Matsuda Motoko

●
編集者



土井 章史
Doi Akifumi

●
編集者



広島県生まれ。1988年頃から絵本の編集にたずさわる。1993年東京吉祥寺に小さな絵本の店トムズボックスをオープン。いままで300冊以上の絵本をトムズボックスの名で企画・編集する。多くの絵本作家のデビュー作に関わる。2003年から学研の月刊絵本『おはなしブーカ』の企画・編集を担当。また絵本のワークショップ「あとさき塾」を運営し多くの絵本作家を輩出している。最新刊は『絵本をつくりたい人へ』（玄光社）。2019年から店舗を西荻窪に移転。

授業の進め方

トムズボックスの名で今までに300冊以上の絵本を編集しています。その経験を生かした編集者ならではの視点で、授業では主に「ダミー本」の講評を行います。また、作家さんとの制作秘話なども時々お話しします。子どもを喜ばせてみせる！そんな心意気、意気込みを感じる作品をぜひ作って下さい。楽しみに待っていますよ！



わっくん
WAKKUN

●
絵本作家
イラストレーター



神戸市生まれ。本名、涌嶋克己（わくしまかつみ）。1986年の初個展以来、毎年、関西を中心に展覧会を多数開催している。1990年絵本『はっ』を出版。物語を空想しながら絵を描く少年の頃の気持ちがこもった独特の作品は、数多くのファンから「WAKKUN」の名とともに親しまれている。阪神・淡路大震災の時にWAKKUNの描くガッツ君のキャラクターに励まされた人は多い。



授業の進め方

授業は「起承転結」のお話を四人一組で作ったり、大きな和紙に墨と筆で絵や言葉を描いたりします。いっけん絵本と関係ないように思えるかもしれませんが、これも表現の大事な肝になります。後半は「じゃばら本」というものを使って一冊の作品に仕上げていきます。ボクがよく生徒さん達に言っているのは「上手く描こうとしない」ということです。上手く描くことよりもその時に感じた温度や湿度なども一緒に表現できたら素晴らしい。自分自身感じた心の震えまでもどんなやり方で作ると良いのか、一緒に探していきましょう。

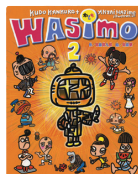
講師 PROFILE | イラストコース

安齋 肇
Anzai Hajime

イラストレーター
アートディレクター



東京都生まれ。桑沢デザイン研究所デザイン科修了。TIS 会員。音楽に関する様々なビジュアルから、キャラクターデザイン、雑誌連載、装幀、アニメーション、ナレーション、展覧会や音楽活動など多岐に渡る。1992 年よりテレビ朝日系「タモリ倶楽部」空耳アワー、NHK BS プレミアム「笑う洋楽展」に出演。チョコベビーズ、勝手に観光協会、LASTORDERZ、宿題作品展オパンドス、フレンズのメンバーとしても活動中。宮藤官九郎原作の絵本『WASIMO』や作品集『work anzai』ドローイング集『drow anzai』を出版。2016 年初監督作品『変態だ』を撮る。



授業の進め方

ボクの授業では、毎回一人ずつに課題を出していきます。皆さんは、それぞれ描きたい絵、手法、好みなどそれぞれ違いますので、各自のやりたい方法をこの一年で見つけていってほしいと思います。「絵話塾」は実験の場でもあります。また、絵の好きな、絵を描きたい人達が集まっていますので、いろんな描き方を試して皆の反応を見ていくと良いと思います。「絵話塾」を多に活用してじっくりと楽しんで下さい。



京都府生まれ。(有) ゴースデザインを経て、2000 年よりフリー。1996 年玄光社イラストレーション「ザ・チョイス年度賞」特別賞受賞。2002 年原宿・ROCKET にて初個展。石井好子「巴里の空の下オムレツのにおいは流れる」(扶桑社) 田辺聖子「残花亭日暦」(角川書店)等の書籍装画、[PARCO]やセレクトショップ「[VIS]」などの広告やノベルティグッズ、NHK ラジオ第2放送のテキスト「英語で読む村上春樹」のイラストを担当。「Polka dot」(服飾雑貨/京都)のショップカード・ロゴやテキストスタイルを担当。



授業の進め方

毎回雑貨作りを行います。自分が作って楽しく、身につけて嬉しいものを作っていきます。例えば絵を買うとなると少し勇気が要りますが、雑貨ですと気軽に手軽です。人にプレゼントするなどのコミュニケーションツールとしても使えます。授業で作るのは、缶バッジ、砂絵、名刺作りなどです。缶バッジも一枚の絵柄の中から、切り取る場所を変えるだけで全く異なる作品に仕上がります。見え方・見せ方は無限にあります。人に喜んでもらうと自分も嬉しく、制作の励みになります。

イナキ ヨシコ
Inaki Yoshiko

イラストレーター



大阪生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業。(株)京田クリエーション入社後、多くのキャラクターデザインを手がけると共にイラストレーターとしても活躍。見る人を元気づけられる作品を作ることがモットー。代表作に明治「マーブルわんちゃん」、西宮市たば博キャラクター「みやたん」、招き猫とダルマを合体させた「ネコダルマンワールド」を展開、童心社「怪談レストラン」シリーズなど多数。2001・2003・2006・2011 年イタリアローマ国際絵本原画展入選。



授業の進め方

キャラクターデザインを中心に授業を進めていきます。絵の世界は上手い下手ではないんです。ボクの考えでは「やる・やらない」、「好き・嫌い」、「合う、合わない」の3つではないかと思っています。一歩踏み出せばその先必ず何かにつながるはず。でも、やめたらそこで終わりのんです。ボクが今この絵の世界にいられるのは絵を描くことをやめなかったからです。描き続けるためには何をすれば良いのか、授業でお話していきたいと思っています。またおすすめの書籍やマンガ、アニメ、映画、展覧会など毎回紹介していきます。

たかい よしかず
Takai Yoshikazu
HAPPY CREATOR



寺門 孝之
Terakado Takayuki

画家・イラストレーター



名古屋生まれ。大阪大学文学部美学科卒業。セツ・モードセミナー卒業。1985 年第6 回日本グラフィック展大賞受賞。光溢れる天使や、溶けるような夢や物語の世界を描き、個展をはじめ、書籍の装画、広告、ライブペインティングなど幅広く活動中。著書に『納豆の大ドンブリ』(岩崎書店)『てらびか映画 日誌』(風濤社)、『DREAM DREAM』(ブルース・インターアクションズ)、『天使のカレンダー』(リトルモア)絵本『ぼくらのオペラ』(イースト・プレス)など多数。2010 年公開の映画「人間失格」で主人公が描く絵を担当。現在、神戸芸術工科大学教授。



授業の進め方

主に課題を出して講評する形をとっています。これまでに出した課題の例で言いますと、「わたしのアイドル」「変身願望」「読書感想画」など。今はネットでいくらでも検索できるので、調べてもあまりわからないような、自分自身で考え、想像できる、そうせざるを得ないような課題を、と思っています。絵を描くことは、太古から人類が今まで永く生み出してきた行いです。いまあなたが絵を描いたとすると、それは人類史上何番目の絵になる訳です。歴史的瞬間なのです。絵を描くとは一体どういうことか。そういった大きい視点で見ていくことも含めて、皆さんと「絵」について深く話し合っていきたいと思っています。

おさない まこと
Osanai Makoto
イラストレーター



神戸市生まれ。宝塚歌劇関係の制作のアシスタント、デザイナーを経て87年よりフリーのイラストレーターとなる。現在は東京在住。主な仕事として NHK 教育テレビ連続ドラマ「ミニモニ。でプレーメンの音楽隊」エンディングタイトル立体イラスト制作。JR 東海新幹線キャラクター。パルメザンチーズのキャラクター「パルメくん」。長野朝日放送テレビキャラクター「モーリーとりんごちゃん」。小学校の教科書『新しい算数』(東京書籍)の表紙。関西でも神戸須磨パティオのキャラクター「パティ」。毎日ランニング、ウクレレを楽しんでいます。

授業の進め方

イラストコースの中で唯一「立体」の授業を担当しています。ボクは「立体」を作ってカメラマンと組んで撮影するスタイルをとっています。イラストといえば平面作品を思い浮かべる方が多いと思いますが、粘土も画材の一つと捉えて使えば、絵の幅と可能性も広がります。授業では、物語の一場面を立体で制作し、撮影してカレンダーを作ります。背景や登場人物の服など、何でも皆さんの工夫で頭をひねりながら一緒に作ります。先生に教わるという受け身ではなく、自分達で考えて進んでいく力を身に付けていってほしいと思っています。

大阪生まれ。東京イラストレーターズソサエティー所属。2000 年カムズグラフィック設立。以降、関東・関西で作品展多数。独特のレトロな作風で愛らしい動物たちを描いた作品は、どの世代にも人気がある。オリジナルの雑貨やぬいぐるみも多数。絵本『タビの雑貨屋さん』(学研)『カルとふしぎな塔』(白泉社)『ボクらはオコジョのおまわりさん』(佼成出版社)『ようこそ ぼくのおともだち』(あかね書房) 等がある。アメリカのブランド「chronicle Books」で多数のグッズデザイン・イラストを担当。世界中で販売され人気を博している。2019 年のパレンタインシーズンには梅田阪急百貨店のディスプレイ・トータルイメージを担当。

授業の進め方

文字と絵の構成を考えながら、「本の装丁」「カレンダー」「パンフレット」等の課題を出し、講評します。イラストは原画が完成というよりも、人の目に触れるのは印刷された状態のものがほとんどです。どのような状態で完成まで持っていくのか、色の濃淡や文字の配置など細部まで計算して描いていきます。また、絵は描かないと上手くはありません。そしてそれを人に見てもらうことが大切です。授業では他の生徒さんの作品もしっかり見てどうやって描いているのかも聞いて吸収していき下さい。



寺田 順三
Terada Junzo
イラストレーター

竹田明日香
イラストレーター
デザイナー
絵本コース修了



第一線で活躍されている講師の方々の豪華さは言うまでもなく、間近でじっくりとその考えに触れ、学べることは大変贅沢な時間でした。また同じ道を目指す仲間と出会うことは、かけがえのない財産となりました。

竹内みか
アーティスト
イラストコース修了



デザイナーだった頃に趣味で入塾しました。そこで描くことの楽しさに目覚め、会社を辞めてプロの絵描きを目指すことになりました。そんな決心ができたのも、気軽に作品の相談にのって頂ける先生方や支えてくれるスタッフの方々、切磋琢磨できる仲間の存在があったからです。制作活動をはじめには最高の環境だと思います。これから絵を学びたい方もプロをめざしている方も、きっと良い機会になりますよ。

伊東ユウスケ
イラストレーター
イラストコース修了



絵話塾では自分の知らない世界観にたくさん触れられたこと、そして絵を描くことが好きな仲間と出会えたことが、何より大きかったです。絵は習えば必ず上達する訳でもないですし、絵話塾に入学すればプロになれる訳でもないと思います。それでも一流の先生方の授業を受けて、制作について語ることでできる仲間と出会える事は、何事にも替え難い体験だと思います。

kaiwajuku
OB・OG
卒業生の声
nie

絵話塾で学んだことを活かし、修了後も継続的に作品展を行ったり、公募展に出品したり等、活動を続けています。またプロとして活躍している方も多く、ここでは一部ですが、卒業生の声を紹介いたします。

北村ハルコ
絵本・イラストコース修了



入るかどうか思いを巡らせている方に、ぜひ絵話塾の扉を叩いていただきたいです。スタッフのみなさんがあたたかく迎えてくださいます。私は通っているときは子どもたちが小さくて、思うように時間が取れず悩みだらけの生徒でした。しかし、関西人によくあるもったいない精神から二年間授業は全部出席しました。芸大出身でもなく、周囲に作る人がいなかった当時の私にとって、すでにプロで活躍している友人がいて、頼れる仲間がいることが、どれほど心強かったかしれません。関西で活動している人の中でダンツに絵話塾出身の人が多くいます。オープニングパーティで、展示会場で、百貨店のイベント会場で、雑貨の委託先であらゆる場所で絵話塾出身の人に会い、繋がっていくのは同じ体験をした仲間と知っているから。仕事の悩みを話し合ったり、一緒に展示をしたり、時には旅に行ったり、年齢を超えて大切な仲間と出会う場所になると思います。ぜひやる気だけで終わらずに、絵話塾に通うことでチャンスを大きく広げてください。

mizobatasaki (ミゾバタサキ)
イラストレーター
アーティスト
絵本コース修了



私が一番面白い！楽しい！と思ったところは、絵本のことを知れたことです。苦勞して制作された！という話を聞けたり、昔から愛されているお話を分析して「ここが良い！」「この結末はどう思う？」など、絵本の中に入って想像し、講師の方やクラスの方と話せることです。授業前に少し早く来て、毎回絵本を一冊分析するなんてこともしました。講師の先生方のお話を聞けたり、楽しい体験ができたり、とても特別な時間でした。

nukumaru (ぬくまる)
イラストレーター・雑貨作家
イラストコース修了



絵話塾は絵が好きで集まってきたみなさまとじっくり絵の話ができる場所だと思います。ひとくちに「絵が好き」といっても好きの方向性や熱量も人それぞれなのですがそれがまた面白くて……。根源的に絵を描かずにはいられない人、趣味でのんびり絵を描きたい人、絵を生業にしていきたい人、ただ絵が好きで人などそんな様々な人々たちをまるっと受け入れてくれるとても懐の深い場所だと思います。第一線で活躍されている講師の先生方ともとても気さくに話をさせていただきますし、いろんな質問にも応えてくださいます。ぜひその醍醐味を余すところなく味わい尽くしてほしいです。わたしは絵話塾に入ってほんとによかったですし、nukumaruとして活動を始めるきっかけもくださり、ただただ感謝しかないです。



絵話塾を受講する前に不安に思っている方、何か疑問のある方、参考にしてください。

Q 案内の冊子を見て、特別コースというのがあるのですか？
A そうですね。どんなコースですか？
特別コースは一年間お好きな3コースを選んで受講できるシステムです。絵本もイラストも興味ある方は集中的に勉強できるので、受講料も含めてお得なコースです。ぜひ検討ください。

Q 家がすこし遠いのですが、生徒さんは近くの方が多いのですか？
A 意外と近くの方は少なく、京都・奈良・大阪辺りから通われる方が多いですね。今までで一番遠い方は沖縄の方もいました。皆さん時間をやり繰りして通われています。

Q 仕事で転勤になって授業に参加できなくなりました。どうすればいいですか？

1年の間にいろいろなことがありますね！仕事・結婚・出産など……。安心してください。通えなくなった場合は、残りの授業日数を来期に持ち越せますので、落ち着きましたら、また授業に参加することができます。

Q 絵本のクラスは水曜日と日曜日があるのですか？

どちらも絵本のコースですが、大きな違いは、水曜日は児童文学作家の高科正信さんの文章の講義があることです。またツペラ・ツペラ、松田素子さんは水曜日。荒井良二・土井章史・木村真・高島那生さんは日曜日のご担当です。授業内容と経歴は12ページを参照して下さいね。

Q 他のコースの授業も受けてみたいのですが、受講できますか？

在校生・卒業生であれば、事前に予約を取っていただきましたら他のコースの授業も受けることができます。この場合は用意する持ち物などもありますので、遅くとも1週間前までに予約してください。

Q 絵話塾の先生に授業が終わってから本にサインをしてもらいたいのですが。

大丈夫です。授業が終わってから、どの先生もサインは気軽に応じていただけます。先生の本を事前に購入されても、また家にある本を持ってきても大丈夫です。

Q 絵本の公募展に出したいのですが、何か注意点はありますか？
A 絵本の公募展（コンペ）の種類は数多くありますが、おススメは、東京のビンポイントギャラリーが主催している「ビンポイント絵本コンペ」と「講談社絵本新人賞」です。この二つはプロの絵本作家になる近道のひとつです。絵話塾の何人かの先生も、これらのコンペで入賞経験があります。ほかに「日産童話と絵本のグランプリ」おしま国際手づくり絵本コンクール」またイタリヤの「ボローニャ国際絵本原画展」も有名な公募展です。

Q 授業日以外に教室に来て絵を描くことはできますか？

家で絵を描こうとしてもなかなか集中できない場合が多いですね。教室が空いている日でしたら、使っているだけで構いません。時間は12時以降で事前に連絡をいただきましたら、自由に教室を使ってください。

Q 授業料以外で指定の画材などは、購入する場合がありますか？

絵話塾では、これを揃えてくださいという指定の画材はありません。ご自身が使いたい画材で構いません。またどんな画材がいいのか分からないときは、スタッフまたは先生に授業後に相談していただいてもOKです。

その他にわからない事がありましたら、メール・電話でご遠慮なくご質問ください。



ギャラリーヴィー絵話塾
tel.078-332-5808
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp

お申し込みから入塾までの流れ

- 1 コース選定**
 - 絵本ゆっくり塾
 - 絵本わくわく塾
 - イラストじっくり塾
 - 文章たっぷり塾
 - 特別会員コース

5コースがありますので、興味のある講座をお選び下さい。
- 2 申込方法**
 - 郵送
 - 当塾での受付

Eメールでのお申し込みは受付しておりません。お急ぎの場合はFAXで仮申込ができます。
(後ほど申込用紙を郵送またはご持参下さい)
f a x 0 7 8 - 3 3 2 - 5 8 0 7



- 3 郵送での受付**

右頁の申込用紙に写真を貼付し、必要事項をご記入のうえ、ギャラリーVie (ワイ) 絵話塾までお送り下さい。
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie (ワイ)
絵話塾まで
- 4 当塾での受付**

右頁の申込用紙に写真を貼付し、申込書に必要事項をご記入のうえ、「ギャラリーVie (ワイ) 絵話塾」までお持ち下さい。
※場所下記地図を参照
- 5 必要なもの**
 - 写真 (申込書貼付用)
 - 申込書 (自筆)

写真は本人と分かるものであれば携帯で撮ったものでも構いません。

- 6 申込受付期限**

● 授業開始日の3日前
当日消印有効

但し、各コースとも定員になりしだい申込受付は終了させていただきます。

- 8 お支払い方法**

支払時期はご相談に応じます
受講料はお申込みから1ヵ月以内に下記の方法でお支払い下さい。

 - 銀行振込
三菱東京UFJ銀行
神戸中央支店 普通口座
口座番号 3892520
名義 ギャラリーVie
村上政行 (ムラカミマサユキ)
 - 郵便振込 (ゆうちょ銀行同士)
記号14320 番号48425941
 - 郵便振込 (他行からの場合)
店名 438 (ヨサンハチ)
普通・口座番号4842594
名義 村上政行
 - 現金書留 / 受講料と申込書を同封のうえ、ギャラリーVieまでお送り下さい。後日、領収書を郵送いたします。
 - 現金 / ギャラリーVieまで直接お持ち下さい。
 - 分割払 / ご相談に応じます。



お問い合わせ先・申込書送付先
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie 絵話塾
tel 078-332-5808
fax 078-332-5807
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp

各講座とも見学・体験受講付しておりますので、ご希望の方は絵話塾までメールまたはお電話で、お申し込み下さい。

※見学は各「コース」回ずつ
kaiwajuku@galleryvie.jp
078-332-5808

お問い合せ先・申込書送付先
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie 絵話塾
tel 078-332-5808
fax 078-332-5807
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp

JR元町駅
阪神元町駅

元町商店街
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie
絵話塾
製菓専門学校
栄町通

● 絵話塾の場所
JR・阪神元町駅西口下車南へ徒歩約3分。
ビルの左側の扉から入って奥にあるエレベーターで5Fです。

右の申込用紙を
コピーしていただいても結構です。

右の申込用紙を
郵送または
直接
ご持参下さい

授業スタート

- 絵本ゆっくり塾 (日曜日) … 6月中旬頃
- 絵本わくわく塾 (水曜日) … 6月中旬頃
- イラストじっくり塾 (土曜日) … 6月中旬頃
- 文章たっぷり塾 (金曜日) … 6月中旬頃
- 各受講料は 246,240円

✉ kaiwajuku@galleryvie.jp

● ホームページ
http://www.galleryvie.jp

● 絵話塾だより (ブログ)
http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku
絵話塾だよりは授業内容、次回のお知らせ等の情報が載っています。

● フェイスブック
facebook.com/kaiwajuku

● Twitter
twitter.com/kaiwajuku

● Instagram
kaiwajuku_insta

受講料

- 絵本ゆっくり塾
 - 絵本わくわく塾
 - イラストじっくり塾
 - 文章たっぷり塾
 - 各講座 年間受講料
- | | |
|------------|------------------------|
| 入会金 | 30,000円 |
| 年間の通信費等・雑費 | 5,000円 |
| 授業料 | 193,000円 |
| 計 | 228,000円 + 18,240円 (税) |
| 合計 | 246,240円 |

● 特別会員

- 1年間好きな講座を3コース
(上記3コース選択) 受講できます。
- 授業料 (税込)
- | | |
|------------|------------------------|
| 入会金 | 30,000円 |
| 年間の通信費等・雑費 | 5,000円 |
| 授業料 | 360,000円 |
| 計 | 395,000円 + 31,600円 (税) |
| 合計 | 426,600円 |

2019年度 第16期生 申込用紙



申込日	年 月 日
ふりがな	
氏 名	
男・女	
生年月日	※生年月日の記入は自由です。
年 月 日	

受講コース (ご希望のコースを○で囲んで下さい)

- 絵本ゆっくり塾 A 14:00~16:00 B 17:00~19:00 (日曜日)
- 絵本わくわく塾 14:00~16:00 (水曜日)
- イラストじっくり塾 14:00~16:00 (土曜日)
- 文章たっぷり塾 18:00~20:30 (金曜日)
- 特別会員 左下に内容を記しています。

住所 〒

都 道
府 県

連絡先

TEL

携帯

FAX

E-mail パソコン

携帯

※授業の連絡に必要です。アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。

勤務先 (学校)

※記入は自由です。

ご注意

各講座とも先着順に受付しておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。受講料はコースの開講ができない場合にのみ、全額返金いたします。中途退学による返金はいたしませんのでご了承下さい。

21
申込書

20
申込から入塾まで